

平成29年度 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）  
ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム 共同シンポジウム・合同研究発表会

日時：平成29年12月20日（水）

会場：量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 重粒子治療推進棟

時間		プログラム		会場
13:00 - 14:55		共同シンポジウム		総合司会：千葉大学 小玉小百合
13:00	13:05	5	<b>主催者挨拶</b> 量子科学技術研究開発機構：平野俊夫 理事長	重粒子治療推進棟2F 大会議室 (受付開始：12:30)
13:05	13:20	15	<b>開会挨拶</b> 量子科学技術研究開発機構：島田義也 理事 千葉大学：徳久剛史 学長 東邦大学：山崎純一 学長	
13:20	13:35	15	<b>来賓講演</b> 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの実績と今後の動向」 科学技術振興機構：山村康子プログラム 主管	
13:35	13:50	15	<b>ダイバーシティ事業概要説明、コンソーシアム紹介</b> 放射線医学総合研究所研究企画室 ダイバーシティ推進ユニット：柿沼志津子 ユニット長	
13:50	14:35	45	<b>パネルディスカッション</b> 「3年間のダイバーシティ活動と今後の発展について」 コーディネーター 量子科学技術研究開発機構 イノベーションセンター 原田良信次長  パネリスト 千葉大学：森恵美 副理事（男女共同参画） 東邦大学 男女共同参画推進センター：片桐由起子 センター長 日本大学生産工学部 男女共同参画委員会：野呂知加子 委員長 東京農工大学 女性未来育成機構コーディネータ：松本千穂 先生 放医研 研究企画室ダイバーシティ推進ユニット：柿沼志津子 ユニット長	
14:35	14:45	10	<b>質疑応答</b>	
14:45	14:50	5	<b>総評</b> 科学技術振興機構：山村康子プログラム 主管	
14:50	14:55	5	<b>閉会挨拶</b> 放射線医学総合研究所：野田耕司 所長	
休憩・移動（15分）				
15:10-17:00		合同研究発表会		司会・進行：放医研 吉井幸恵
15:10	15:55	45	<b>ポスター発表（7名）</b>	重粒子治療推進棟2F ホワイエ (ポスター展示開始：14:00-)
15:45	16:00	15	途中休憩	
16:00	17:00	60	<b>ポスター発表（9名）</b>	

発表終了後-18:00 発表者との研究交流・個別意見交換

2017年12月20日「共同研究推進のための合同研究発表会」

Aグループ 開始時間15:10 (15:10-15:45)			
発表時間	所属	発表者	発表タイトル
15:10-15:15	放射線医学総合研究所 放射線障害治療研究部	研究員 ウエノ メグミ 上野 恵美	A New Approach for Quantifying Radio-Biological Effect using Time Course of Mouse Leg Contracture
15:15-15:20	東邦大学 看護学部	准教授 ソノタ キミエ 其田 貴美枝	簡便かつ信頼性の高い 家庭血圧測定・管理システムの構築
15:20-15:25	放射線医学総合研究所 分子イメージング診断治療研究部	技術員 シバタ サヤカ 柴田 さやか	高磁場MRIによる血液脳関門と血液腫瘍関門を理解するための三次元画像の作成
15:25-15:30	東邦大学 医学部	助教 タナカ ユリコ 田中 ゆり子	シェーグレン症候群モデルマウスを用いた唾液腺機能障害メカニズムの解析
15:30-15:35	放射線医学総合研究所 放射線障害治療研究部	業務補助員 ニユウイ ミナコ 乳井 美奈子	Reactivity of RedOx Sensitive Paramagnetic Nitroxyl Contrast Agents and Reactive Oxygen Species
15:35-15:40	放射線医学総合研究所 放射線障害治療研究部	研究員 カワノ ミツコ 川野 光子	FGF18による放射線毛包障害防護機構
15:40-15:45	千葉大学 大学院 医学研究院	大学院生 ミヤモト タクヤ 宮本 卓弥	ラット頸髄症モデルの作成

発表終了後-16:00 発表者との個別意見交換・研究交流

Bグループ 開始時間16:00 (16:00-17:00)			
発表時間	所属	発表者	発表タイトル
16:00-16:05	千葉大学 大学院 看護学研究科	助教 ナカイ アヤ 仲井 あや	早産児の行動上の特徴と自己調整機能の発達 ～看護学の視点から～
16:05-16:10	放射線医学総合研究所 重粒子線治療研究部	業務補助員 ユトク ヤストモ 湯徳 靖友	「遺伝情報DNAを守る仕組み」の解明が切り拓く重粒子線がん治療の高度化 ～ゲノム維持・細胞死・老化・免疫の多段階で働くDNA損傷センサーを狙う～
16:10-16:15	千葉大学 大学院 理学研究院	助教 ニキ カオリ 二木 かおり	X線を用いた物質構造の解析
16:15-16:20	放射線医学総合研究所 分子イメージング診断治療研究部	博士研究員 サトウ チカ 佐藤 千佳	3次元全脳微細構造を可視化するex vivo マンガン造影MRI法の開発
16:20-16:25	かずさDNA研究所 技術開発研究部	特任研究員 アキモト ナユミ 秋元 奈弓	質量分析を用いた網羅的なフラボノイド同定システムの開発
16:25-16:30	千葉大学 大学院 園芸学研究科	教授 エガシラ ユカリ 江頭 祐嘉合	トリプトファン代謝に着目したファイトケミカルの抗炎症作用機序に関する研究
16:30-16:35	東京理科大学 理学部第二部	教授 アキツ タカシロ 秋津 貴城	イオン化放射線で低線量処理した種々の食品試料に関するXRDおよびFT-IR分析
16:35-16:40	東邦大学 理学部	教授 アダチ トモコ 足立 智子	離散数学の情報通信分野への応用
16:40-16:45	放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部	チームリーダー ヤマダ マキコ 山田 真希子	眼球運動計測を用いた抑うつに関わる認知プロセスの解明

発表終了後-18:00 発表者との個別意見交換・研究交流